

天溪 2015年「ピレネー国境横断ハイキング 10日間」

第1部

「ピレネー国境横断ハイキング 10日間」を8月18日～8月27日に行いました。

ツアーはピレネー山脈の中ほど、世界遺産モンペルデュの中に有り、抒情詩ローランの歌で知られるローランの裂け目を通りフランスからスペインへ国境越えをします。途中、カルカソンヌやモンセラートなど歴史的な遺産を訪ね、サンチャゴデコンポステラータへ向う巡礼街道をかすめ(僅か)、ガウディやピカソらの芸術にも触れることが出来ます。一方、この地はボルドー地方に近く美味しいワインで食事が楽しめる所です。この地域を訪れる際は地図で位置を確認し、レコンキスタでカール大帝の十字軍が活躍するあたりを学習しておくと思えます。



(ガウアルニー圏谷 8/22日)

○カルカソンヌ・ルルド

「カルカソンヌを見ずして死ぬことなかれ」と言われ、フランスの世界遺産の中でモンサンミッシェルに次ぎ年間来訪者数が多いと言う城塞都市カルカソンヌから今年もスタート。聖母マリアの出現と病が治るルルドの泉で知られるカトリック教徒の巡礼地ルルドに寄ってから、かつてスペインへ向う街道筋として栄えた山岳避暑地コトレへ向かいました。この地はボルドーから僅か200Km、美味しいワインの産地でもあります。



(カルカソンヌ8/18日)



○コトレ

およそ 100 年程前にロシアなど各国要人の別荘地としてにぎわったコトレ。ここからシャトルバスと徒歩でスペイン橋(ポン・デスパニーユ)へ向い、続いてリフトで 1700m地点へ。快晴も手伝ってゴープ湖を過ぎ、急坂を登り、フランス・ピレネー最高峰のモン・ビニユマル(3298m)北壁が迫る地点までハイキングしました。所で、スペイン橋はかつてフランス・スペインの交易ルート上に有り、地元の人々がここから先はもうスペインと言ったことに由来するそうです。



(モン・ビニユマル 8/20 日)



○ガバルニー

世界遺産モン・ペルデュに有るガバルニー圏谷はピレネー最高峰のモンペルデュ(3352m)、モン・マルボレ(3253m)はじめ 3000m級の山々がカール状に取り囲み、その中心から流れ落ちる滝は落差 422mありヨーロッパ最大です。その滝つぼを目指しハイキングしました。余りの快晴に明日以降の天気をガイドのフィリップ氏に聞けば、つるつる頭を撫でながら浮かぬ顔。何故かフランスガイドは昨今傘を持ち歩くのが流行の様で、これと合わせて不安を掻き立てました。



(ローランの裂け目遠望 8/21 日)



(ガウアルニー圏谷 8/21 日)

後半はローランの裂け目を越えスペインンへ入り、バルセロナまでをお伝えします。

記 天溪 赤沼